

市民参画のまちづくり 笠間市まちづくり教室

だより

問合せ 市民活動課（内線 135） Mail: katsudo@city.kasama.lg.jp

活動報告② まちづくり教室 開校式

◆みんなでわいわい、ワークショップ

笠間市まちづくり教室では、「市民によるまちづくりの重要性」を発信するために、毎年「夢を語る」「まちを探る」などのテーマでワークショップや座談会を重ねてきました。今年の5月23日に行われた開校式では、初めてまちづくり教室のメンバーだけではなく、笠間市内外のまちづくりのキーマンも招いて、「市民活動の側面から考える文化交流都市・笠間」というテーマでまちづくりプロジェクトを考えるワークショップを開催しました。

5グループに分かれて考え出された計画は☆グローバル農業 かさ“マルシェ”プロジェクト☆胸が土器土器プロジェクト☆A²体験一芸農人プロジェクト☆笠

間ナイトフェスティバル☆笠間まるごと体験プロジェクトです。今後は、ワークショップで出た意見をまちづくり教室の活動にどう生かしていくのかメンバーと共に考えていきたいと思います。（詳細は8月刊行予定のまちづくり教室報告書をぜひご覧ください。）



↑付箋に書いたみんなの意見をまとめています

←いろいろなアイデアが出てきます。

「8月15日」

今年も64回目の終戦記念日を迎えようとしています。先の大戦において命をさげられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

市では、8月22日に笠間公民館において、戦没者追悼式を実施します。遺族関係者はもちろん、市民の皆さんのご参列をお願い申し上げます。

大戦当時、友部地区（現在の県立友部病院一帯）には、筑波海軍航空隊が存在し、厳しい訓練に明け暮れ、73名の隊員が故郷から遠く離れた南の地で特攻により尊い命を落としました。現在、「友の会」主催の慰霊祭が毎年行われています。

また、8月15日には市内各所の忠魂碑の前において、遺族会の方々が慰霊祭を行っています。

この時期に毎年繰り返されることですが、総理が靖国神社へ参拝するか否かが、中国、韓国との外交にも関わる問題として、マスコミに取り上げられ、物議をかもします。過去の歴史において、尊い命をさげられた方、犠牲になられたすべての方々に哀悼の意を表すことを必要とした上で、国としての明確

こんにちは市長室です



山口市長



消防団ポンプ自動車貸与式にて

な考え方を示すべきではないでしょうか。

靖国神社への参拝については、是非の議論がありますが、祭られている英霊に手を合わせ、ご冥福と平和を自然な気持ちで願うことは、平和を享受している者として当然であると思います。

私の母方の叔父2人も戦死を遂げています。今年も佐白山の忠魂碑の前で手を合わせることが、私の8月15日です。

笠間市長
山口伸樹